

令和7年3月1日

## 個人情報保護に関する誓約書（両面印刷）

国家公務員共済組合連合会  
虎の門病院長殿

私は、当院の職員として、個人情報の取り扱いには、細心の注意を払い、漏えい等の事故がないよう、個人情報保護に関する規定を十分に理解し、これを遵守いたします。

私は、在職中はもちろん、退職時・退職後においても、職務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏えいすることや、持ち出すことはいたしません。

以上、誠実に遵守することを確約するとともに裏面についても理解しました。

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

所 属 \_\_\_\_\_

職 種 \_\_\_\_\_

職員番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊞

## 虎の門病院における個人情報扱いについての遵守事項

個人情報の保護に関する法律において「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日、その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより個人を識別する事が可能なものを含む）と定義されている。ただし医療機関においては、上記定義に関わらず、死亡した患者の情報についても同様に扱う。特に病歴は、「要配慮個人情報」として、扱いに特段の配慮が求められる情報に区分され、本人の事前承諾なくして第三者に提供することが禁じられている。

一般に「病歴」には、患者の基本情報・紙や電子媒体による診療録・処方箋・服薬指導・手術記録・看護記録・検査所見録・照射録・エックス線画像等・診療情報提供書・入院診療経過の要約・診療情報明細書・助産録の内容がある。また遺伝子情報・マイナ保険証の番号などの個人識別符号や、病歴・調剤情報・健康診断の結果・保健指導の内容・障害者認定の有無等が含まれ、要配慮個人情報として扱うことが要請される。

上記をふまえ、当院規定の「個人情報保護方針」に則り「虎の門病院における患者さんの個人情報の利用目的」の範囲内で利用すること。それに違反する行為は厳に禁じる。

## 入職時から退職後までの個人情報に関する院内ルール

入職時 『個人情報保護に関する誓約書』の提出

在職中 個人情報を含んだデータを院外に持ち出す場合は事前申請のうえ承認を得ること。

また、個人用パソコンを院内で使用する場合にも届出を行う。

患者を識別照合できる情報や、これを含まない情報であっても、患者本人やその周囲の者が当人の情報であることを確知できる情報を、インターネット等を介して特定、不特定又は多数の者が知り得る状態に置くことは禁ずる。

退職時 在職時に使用、保存した個人情報が含まれるデータを記録した媒体、複製物及び関係資料等がある場合には、退職時にすべて返還もしくは廃棄をし、『病院が保有する患者データに関するチェックリスト/誓約書』を提出する。

退職後 退職後に研究、申請等で、在職中に関わった患者の診療記録の閲覧をする場合は、退職医診療記録閲覧等規定に則り、事前申請を行い管理者の承認を得ること。